

「筒をGET！」球並べゲーム

制限時間内に、コート中央に並んだ筒に自分の色の球を入れる。より多くの筒を自分の色にしたほうが勝ち。

① 競技

- ・コートセンターライン上に並べられた9本の筒に球を入れる。筒に球を入れると、自分の色にセットしたことになる。
- ・相手の色にセットされた筒に自分の球を入れると、自分の色にセットしなおすことができる。つまり、筒に入っている一番上の球の色が有効となる。
- ・1本の筒には3個まで球を入れることができる。4つ以上球を入れたとしてもその球は無視される。

② 競技時間

- ・競技時間は3分間とする。競技終了の合図ですぐにロボットを静止しなければならない。また競技終了後に筒に入った球は無効とする。
- ・コートの準備が整った時点より1分後をスタートとする。スタート1分前よりカウントダウンを始め、この1分間を準備時間とする。
- ・競技中に何らかのトラブルで試合が中断されたとしても、通常は時計を止めずに競技を続行し、時間延長等を行わない。ただし、審判の判断で時計を止めたり、競技を最初からやり直す場合もありうる。

③ 競技コート・他

- ・競技コートは170cm×340cmの長方形の枠内とする。
- ・中心をセンターラインとし、これを基準に自コートと相手コートに分ける。
- ・センターライン上に幅10cm、長さ170cmの板を置き、この上に筒が均等に固定されている。
- ・操縦エリアはコートの周りで、フェンスなどで仕切られた内側とする。センターラインの延長線で分割し、相手側の操縦エリアに立ち入ることは禁止する。また操縦エリアに入ることができるのは操縦者（1名）のみとする。
- ・球は直径40mmのピンポン球で、白とオレンジの2色を各25個使用する。
- ・球はスタート時ボールエリアに配置されている。ボールエリアは球が散乱しないように5mm角の棒で囲われている。

④ スタート

- ・競技者は準備時間中にスタートの準備を完了しなければならない。もし準備が間に合わなかった場合でも競技は予定時刻に開始されるが、準備が完了するまでスタートはできない。
- ・スタート時にロボットは、スタートエリアの枠（50cm×50cm）内に収まっていないといけない。また高さも50cm以内に収まっていないといけない。

⑤ 競技の進行

- ・競技中コート外に飛び出した球は無効となり回収される。
- ・相手コートに自分の球を落としてしまった場合でも、ロボットが拾うことができれば再利用できる。ただし、このときロボットが相手コートの表面に触れてはいけない。
- ・相手が先に入れた球を取り出すことができる。ただし球を取り出す場合は、球をつかむ、すくい上げるなどの方法で行うこと。筒に無理な力を加えるような方法は禁止する。
- ・ロボットやコードが互いに絡んで競技の続行が困難と審判が判断した場合競技を中断し、両者自己のスタートエリアから再スタートを行う。
- ・競技中ロボットが転倒または不調となったり、コードが絡んで動けなくなった場合「リトライ」と宣告すればロボットを回収し復帰させることができる。このとき競技は中断されない。再スタートはスタートエリアから行う。
- ・再スタートはロボットが完全にスタートエリアに収まっている必要はない。
- ・競技の中断またはリトライなどで、ロボットを回収するためならば、ロボットを手で触る、相手の操縦エリアに立ち入ったりコートに手をつくなどの行為を行っても反則とならない。ただし相手の動作を妨害してはいけない。また、止むを得ない場合を除き球に触ったり動かしてはいけない。この時ロボットが球を

保持している場合はその状態のまま再スタートしてもよいが、球を落としてしまった場合は競技に復帰するまでそのままの状態にしておくこと。コート外に落ちた場合は無効な球として回収される。修理・調整が必要な場合はコートの外で作業を行うこと。

⑥ 勝敗

- ・試合終了後にセットされている筒の数を数え、多い色の方を勝ちとする。
- ・同点の場合は、筒に入っているすべての球の数を比較し、多いほうを勝ちとする。
- ・それでも決まらない場合はコートのリセットし1分間の延長戦を行う。

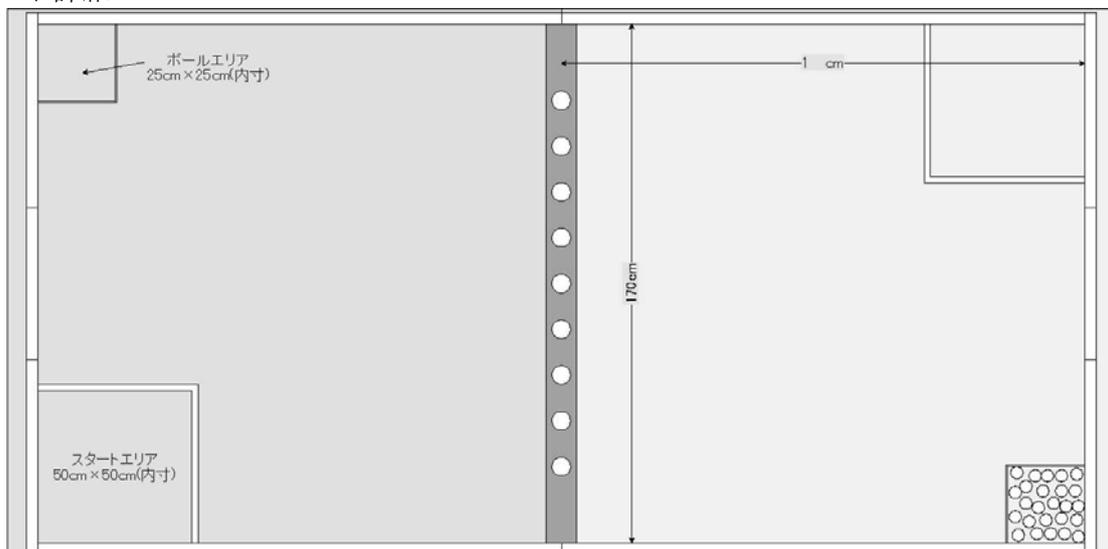
⑦ 反則・失格

- ・次の場合は反則とし、審判が警告を与える。
 - * ロボットが相手コート表面に触れた場合。
 - * ロボットを使わず、他の方法で球を動かしたり、制御用のコードを引っ張ってロボットを動かした場合。
 - * 競技者がコート上面に触れたり、相手の操縦エリアに立ち入った場合。
 - * 競技者がボールに触った場合。
 - * 故意に相手のロボットにぶつかりに行った場合。
 - * 相手が先に保持しているボールを叩き落したり、奪い取る行為を行った場合。
 - * 中央に並んだ筒に無理な力を加え球を取り出そうとした場合。
- ・次の場合は失格となる。
 - * 1試合中に3回反則を行った場合。
 - * 反則を行ったときに審判の警告に従わず、その反則行為を続けた場合。
 - * その他、審判が重大な違反行為と判断した場合。

⑨ ロボット

- ・基本となるロボットのキットは組立講習会参加者に支給する。(タミヤ 4chリモコンロボット製作セット DXITEM 70177) なお、組立講習会に参加しなければ競技に出場することはできない。
- ・ロボットの改造はこのルールに違反しない限り自由に行ってもよい。ただしコントローラーの改造はできない。
(コントローラーのケーブルの延長のみ認められる)
- ・ロボットのサイズはコントローラおよび接続ケーブルを除き、スタート時に50cm×50cm×50cmの立方体に収まらなければならない。重量については特に制限はない。また、スタート後は大きさに制限はない。
- ・使用するエネルギー源は、公証電圧1.5Vのアルカリ乾電池、単1または単2を2本とする。充電式の電池の使用はできない。
- ・球の保持については粘着材を使ったり傷つけたりするような方法は禁止する。
- ・コートや他の競技用資材、または相手のロボットを汚したり傷つけるような構造であってはならない。
- ・以後の競技の続行が困難となるような破壊的な行動をしてはならない。

⑩ 競技コート詳細



中央に配置される筒は厚さ12mm、幅10cm、長さ170cmの板に15cm間隔で固定されている。筒の材料はペットボトルの下側を10cm切り取って使用する。

ペットボトルは、麒麟生茶（500ml、店頭販売用）の予定。

⑪ 配布するロボットキットの組み

